



第三者審査委員会

「ecolon」の認定は、社内審査だけではなく、専門家や有識者の方々による第三者審査委員会で審議していただいています。審査基準を満たした商品だけを「ecolon」として販売しています。



第三者審査委員の先生方

エコプロジェクトに参加して

株式会社コゴ 代表取締役社長 山村真一

今、日本は東北の災害から生活の基軸が大きく変わりつつある。安心、安全、エネルギー、資源、幸せや豊かな生活感等、従来、是とされた概念が原点から見直されている。戦後65年間は、生産する人々の視点に立ったものであったのだろう。これからは、新しい生活概念から生まれた感性や、新しい時代に求められる提案が企業の格を決めることになるだろう。生活する人々の視点に立つエコオンプロジェクトは、これからの商品計画に大きな役割を果たすことになるだろう。このプロジェクトに参加できることはとても意味深く、重大な責任を感じるとともに、未来の環境や生活提案に参加するというデザイナーとしては誠にやりがいのあるプロジェクトといえる。

持続可能な社会を構築する姿勢

財団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会 石崎美英

消費者・生産者そしてユニーの3者が協力して「ecolon」商品を開発・販売することにより、持続可能な社会を構築しようという姿勢を評価したいと思います。使えば使うほど環境にやさしい商品が増えることは、未来の地球環境にも現在の私達にとっても嬉しいことであり、生産者やユニーにとっては企業の発展につながるようになります。すべてのステークホルダーの満足が得られるような企業経営のあり方を今後も継続してほしいと応援しています。

環境対応化した日常生活を応援

名古屋大学 情報文化学部環境学研究科 教授 佐野充

地球の直径が1mならば、私達が生きている空間の厚みは1mmになります。スペースシャトルの飛ぶ宇宙は5cmの高さになります。私達は、日常の生活も動くことも将来もこのわずか1mmの空間で暮らさざるを得ません。環境との共生は当然であり、環境対応化した日常こそが私達の真の姿です。「ecolon」が、環境対応化した日常生活を実感できるように応援したいと思います。

消費者からの応援

従来、品揃えや商品開発は、メーカーと小売業が担い、「買う側」である消費者の意見や要望がなかなか反映されていませんでした。ユニーも開発担当者が環境配慮への思いを込めてメーカーと取り組み、製造した商品を販売していました。ところが期待どおりには販売数が伸びないことがありました。そこで、「買う側」である消費者と商品開発担当が一緒に考え作り上げ、他の消費者に伝える活動を行いました。

今後はさらに、「どんな商品を開発してほしいか」「作り上げた商品の使い勝手はいかがか」「他の消費者に伝えるにはどうしたよいか」など、ユニーと一緒に「ecolon」の開発を応援していただきます。

おかいもの革命!リサーチャーズクラブ

消費者がお買いもの中で感じている素朴な「?」や「あったらいいな!」というアイデアを持ち寄り、お店と一緒に考え・実現する場として「おかいもの革命!リサーチャーズクラブ」がアピタ千代田橋店を拠点に活動を行っています。



担当バイヤーとミーティングで日頃の疑問や要望を直接出し合う



地元産の旬の野菜のオリジナルPOPを売場に設置



PB商品は実際に使用した感想をPOPにして消費者仲間に情報提供

ecolon開発の考え方

開発にあたり、以下の事を考慮し進めています。

1. ecolon商品がユニー様にとって 企業価値を上げるブランドであること
 2. ecolon商品がお客様にとって圧倒的な存在感をもって受け入れられること
 3. ecolon商品が開発者、販売者にとって、誇りがもてること
 4. ecolon商品が住関本部に利益をもたらすこと
- 商品が一次機能を満たすだけなら、お客様は価格で選択します。ecolonブランドを育てることで、「ユニーの環境の考え方」「お客様の求める環境スタイル」などが価値となり、お客様に選択されるブランドになっていくと思います。まだまだ、開発途上ですが、今後も価値ある商品の開発を進めていきたいと思います。



住関本部
商品企画開発部
菅野誠一

新商品キッチンタオルの商品開発

「牛乳パック生まれのキッチンタオル」について私が商品開発したキッチンタオルが、ecolon第三者審査委員会の審査を通り、販売されることになりました。このキッチンタオルは回収した牛乳パックを原料に使うことで、環境保全・高品質・安全を同時に実現しました。牛乳パックは再生紙でありながらパルプと同等の上質原料であり、使用感や安全性はパルプ100%の商品と同等です。さらに生産ロット毎に食品衛生試験および蛍光剤反応試験を実施し、安全性を補完しています。



住関本部
商品開発部バイヤー
千葉哲志

イイことカフェ

マイecolonマグボトルをアピタの喫茶・飲食テナントの協力店に持参して、コーヒーやお茶などを入れて（有料）もらえるサービスを実施しています。マグボトルの飲み物を飲み終わっても補充することができ、保温効果が高いので、熱いものは熱く、冷たいものは冷たく、適温で飲むことができます。

